

総務常任委員会

平成23年11月8～10日 埼玉県朝霞市・千葉県浦安市

【視察委員】 委員長 木場田孝幸
副委員長 神田公司
委員 島田敏春
委員 西島隆博

11月9日 埼玉県朝霞市

防災対策について

埼玉県朝霞市朝霞消防署にて、防災計画について説明を受けました。近年全国各地で発生した、各種災害に対する教訓等を踏まえ、防災に関する法令等の改正や、埼玉県の防災計画策定に影響しない範囲で「より使える計画へ」各対策マニュアルを各担当セクションで作り、実施に移しているとのことでした。県外の自治体と1対1での災害援助協定や、震度5弱以上での全職員の自主参集、災害時における燃料等の供給に関する協定など、あらゆる面からの見直しや、新規に必要な事項のマニュアルの作成等を、今後も続ける事で、職員の方たちも、今回の東北地震を教訓に、危機管理意識が益々強くなったとのことでした。



朝霞市研修風景

11月10日 千葉県浦安市

液状化現象について

千葉県浦安市、舞浜駅にて、浦



浦安市災害現場

安市議会事務局課長、と合流し早々、今回の大震災で発生した、液状化現象の実態を見させて頂きました。歩道橋の支柱の基礎部や、階段の下部で3〜40センチメートルの地盤沈下の状況等、また、市役所に向かう道路では、まだ波打った状況、それらを整備改修している工事箇所がいたる所で見受けられました。

浦安市役所につき、防災課長より、被害状況（震災発生直後のビデオ）や、防災計画について詳細に説明を受けました。災害復旧状況は現在、下水道も仮復旧状態で、本復旧に向け設計中とのこと、本格的復旧には、数百億円の費用が必要で、国、県の支援がなければ、復興できないと、強調されました。国や県等の基本方針等を踏まえ、浦安市に合った防災計画を作る為に、パブリックコメント等行いながら、作成していく、とのことでした。

文教常任委員会

平成23年度合志市一般会計補正予算について

(学校教育課)

問 管理用備品のタイムカード設置による効果について。

答 タイムカードの導入により、教職員の勤務状況を把握でき、負担軽減になる。

問 特別支援教育就学奨励費の増額補正について。

答 特別支援学級数は、この5年間で1.5倍に増加しており、当初予算では児童数を49名で見込んでいたが5名の増加によるものである。(生涯学習課)

健康福祉常任委員会

平成23年度合志市一般会計補正予算について

(福祉課)

問 事業運営安定化事業とは。

答 障害者自立支援法の施行に伴い、事業者への報酬の支払いが月払いから日払いになり事業者の収入が減収するところが出てきたので、従来の算定方法で90%に満たない事業者等に対して臨時特別交付金事業での助成です。(子育て支援課)

問 子育て環境整備について、AEDなど備品の設置状況と、また大体同じように備わっているのか。

答 各学童保育の希望を取り、各

学校にはAEDは設置してありますが、校舎と離れたところにある学童保育4か所が要望、空気清浄機は学童クラブに設置されているところもあるので6か所要望がありました。市で整備する物に関してはどのクラブも同じです。

平成23年度合志市国民健康保険特別会計補正予算について

問 医療給付費保険税滞納分の積算根拠は。

答 本年度の滞納繰越調定額に見込徴収率をかけた額を計上しています。

平成23年度合志市一般会計補正予算について

(学校教育課)

問 体育施設改修工事について。福原グラウンドに設置してあるバックネットの基礎部分の腐食がひどいので利用者の安全を考慮し、修繕を行なう。



福原グラウンド (バックネット支柱の錆状況)

陳情第3号 合志市小中学校空調設備設置要望について

市民4823名の署名は重要である。

委員会では学校の暑さについて現地調査も行ない、要望事項は妥当である。

現在の電力事情、財政状況を鑑み、考慮する必要がある。

等の意見も出ましたが、子ども達の教育環境を改善するということの方が何よりも大事ということで採択されました。

平成23年度合志市介護保険特別会計補正予算について

グループホームのスプリングラー設置についての内容と、現在の状況は。

答 グループホームは4か所あり、ヒューマンケア・かたれあ会・さくらんぼ須屋については、面積275㎡以上で設置しなければならぬという消防法施行令の改正があり、設置済です。もみじ園については27㎡以下で設置の義務付けはありませんが、県の補助要綱により対象外の施設でも整備ができるので、今回整備を行うものです。



合志南小学童保育「ひまわりクラブ」

産業建設常任委員会

平成23年10月31日～11月2日 千葉県木更津市・野田市・茨城県つくば市

【視察委員】 委員長 正崎直一
副委員長 橋本祐一
委員 濱口今村本松
委員 木坂本松

10月31日、11月2日

千葉県木更津市、野田市

下水道事業について

木更津市（人口約13万人、面積約139km²）、野田市（人口約15万7千人、面積約104km²）について下水道事業運営を視察研修した。その中で、各市との主な相違点は汚水処理原価については、ほぼ同一であるが、①合志市の使用単価が木更津市の64%、野田市の60%と低いこと。②設備費用の回収率が木更津市の60%、野田市の67%とこれも低いこと。③一般会計よりの繰入金中、基準内繰入金金の割合が木更津市より26%、野田市より36%も少ない状況で、今後その是正および確認の必要性を感じた。



木更津市研修風景

11月1日 茨城県 農研機構

農研機構の各種事業について

果樹研究所では、①新しい品種の創出。②健康機能の高い果物生産。③防害虫の総合的防除。④果樹技術者の養成に重点をおいて研究・生産が広い圃場の中で行なわれており、渋皮が容易にむける「ぼ



新品種「ぼろたん」の結実状況

11月2日 千葉県野田市

公契約条例について

条例制定の経緯については、賃金格差の是正やワーキングプア対策を国に求めたが、動きがないため市独自の制定となった。最終的な目標は、国による公契約関連の法整備であり、現在、川崎市が取り組みを始め、相模原市、多摩市、札幌市などに広がっている段階との説明を受けた。